

たたかえCCS！

VS 寒さ!!

今回の「たたかえCCS！」のお題は『寒さ』です。

寒いときは体の動きも低下しますが、スマホやデジカメなどのバッテリーも性能が低下します。冬に外でスマホを使っていて、動作がおかしいと思うことはありませんか。スマホに使用される一般的なリチウムイオン電池は、寒ければ寒いほど、充電残量が少なければ少ないほど電圧が下がりやすく、すぐにシャットダウンしてしまいます。25°Cで20時間保つ電池は-20°Cでは13時間しか保たなくなります。常温で残量が20%あっても、低温によってバッテリーの電圧が下がればシャットダウンしてしまいます。

実際にCCSnews編集部メンバーのスマホが北海道の寒さとたたかいました。満充電のスマホを雪の降ってる屋外に30分放置します。

①iPhone8(H先輩の机から拝借)

最新型。30分後の充電残量は85%。しかし、電話をかけると声が聞こえず、数秒後にシャットダウン。
常温に戻すと通常使用が可能になり、充電残量も90%まで回復しました。



②iPhone4S(S君の音楽用)

7年前の物。雪の上に5分置いただけでシャットダウンしました。
ついでに二度と電源が入らなくなりました。ごめん。



③Xperia(後輩Iが「最新機種買った」って自慢してきた)

30分後の充電残量は99%。動作には全く問題ありませんでした。
勝ったけど…腹立つ! (#^Д^)



1勝2敗です。iPhoneは温度変化に弱く、最新機種を使用していても通話や写真撮影等の電圧がかかる操作を行った場合には強制終了してしまいました。比較してXperia等のAndroidOSを搭載したスマホは寒さに強いという印象です。現在、日本のスマホのシェア率はiPhoneがおよそ70%となっています。きっとこの記事を読んでいる人の中にも敗北を味わっているiPhoneユーザーがいるかと思います。

では、どうすれば勝利できるのか。実は対策はとても簡単で「人肌で温める」ことです。最近では液晶サイズの大型化やケースを取り付けることが多いためポケットに入れて持ち運ぶ機会が少なくなっていると思います。冬の外出時にはコートのポケットやスーツであれば内ポケットなど人肌に近いところで持ち運ぶのが良いでしょう。ストラップで首から下げるのもおすすめです。

ただし! 「要は温めればいいのではないか」と思ったそこのあなた! 冷え切ったスマホをカイロやストーブで温めてはいけませんよ!
内側が結露して故障してしまうことがありますので、お気をつけ下さい。

NS事業部 山本 剛

社内イベント

年末、奴がやってくる…。

今回は総務部におけるイベントをご紹介します。

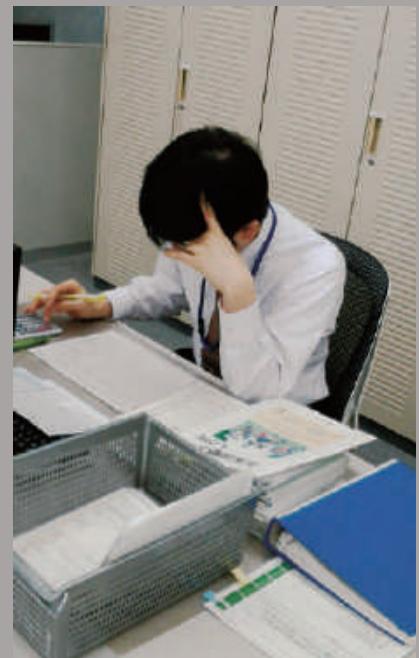
どの組織の総務部でも年末に行う一大イベント…。そう、年末調整です。

年末調整とは、「サラリーマンや公務員などの給与所得者に対して事業所等が支払った1年間(1月~12月)の給料・賞与や賃金および源泉徴収した所得税等について、原則として12月の最終支払日に再計算し、所得税の過不足を調整すること」(Wikipedia参照)です。

従業員は扶養控除申告書と生命保険控除申告書、住宅借入金等特別控除を会社に提出します。総務部が申告を踏まえて再計算をするのですが、年に一度ということもあり、控除金額の計算間違いなど書類の間違いが多々あります。

このような間違いを減らすために、最近では各保険会社も年末調整申告用の計算ツールを提供するなどのIT化が進んでいます。ツールを使用することで、おかげさまで正確に計算ができるようになったと思います。(それでも間違いがありますが…笑)

年末調整は総務部にとって1年の締めくくりです。2018年はまだ始まったばかりですが、次回の年末調整を無事に迎えられるように1年を過ごしていきたいと思います。



総務部 大熊 伸佳